

「地域とともにある子どもの育成」

下関市立玄洋中学校

学校運営協議会について

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応により、学校運営協議会を中心とした様々な教育活動が中止となりました。

毎年、定期的（1回／学期）に学校運営協議会をもち、「地域とともにある子どもの育成」について熟議を重ねています。学校教育目標を基軸として、学校の近況、情報交換、授業参観および授業評価などを議題に挙げ「めざす生徒像」を意識した取組を行っています。

年2回開催される校区内合同学校運営協議会では、9年間を見据えた校区内の「めざす児童・生徒の育成」を図るために小中学校が連携して情報交換し、議題を協議しています。また、分科会では、子供たちの地域および学校での様子をより細かく情報交換するとともに今後の児童生徒を育成する手だてを話し合っています。小中連携による熟議により課題を明確にすることで、校区内の学校運営協議会と協働した教育活動を展開しています。

特色ある活動

<地域貢献>

- ・「ひこつとらんどマリンビーチおよび校区内地域の清掃活動」

校区内の小学生と中学3年生、自治会そして地元企業と連携して大規模な清掃ボランティア活動を行っています。（令和2年度は、中等教育学校も連携する予定でした）

- ・「自治会、老人会と協働のボランティア清掃参加」

自治会や老人会と協働する清掃活動に、生徒がボランティアとして参加することにより地域との絆をより強める活動となっています。

- ・「あいさつ運動」

毎月0のつく日に、生徒会を中心に保護者も参加して「あいさつ運動」を行っています。特に10日は「彦島あいさつの日」として本校区と彦島中学校区が協力して保護者・地域の方々と朝のあいさつ運動を行い「地域とともにある学校」を発信しています。

<学校支援>

- ・「平家踊り」

地域の伝統舞踊「平家踊り」を保存会の方々から指導を仰ぎながら、全員参加による活動として体育祭の中で「平家踊り」を披露しています。地域のよき伝統を引き継ぎ、地域愛と絆をより強めています。

※令和元年度は、本校体育祭に小学生の応援参加をいただき「平家踊り」

を披露することで小中連携の取組をより深めることができました。

- ・「家庭科の授業支援」

家庭科の裁縫実習授業において、地域の方々に授業に入っただき、生徒に寄り添い、声かけ、アドバイスをいただきながら授業を進めています。

- ・「読み聞かせ」

1年生（学期に1回は全学年）を中心として、地域の方々から朝学習・読書の時間を活用して、時節や発達段階に応じた心のこもった「読み聞かせ」をしていただいています。



来年度に向けて

本校区は、「子供の育成」における教育活動に関心の高い地域です。子供の学びや成長を視点にした方向性や課題を共有しながら、地域一体となった教育活動が展開されています。今年度は、感染症禍で多くの行事が中止される中、学校から委員の方々に対して家庭訪問を重ね、学校の近況を伝え、今後の取組を相談してきました。来年度は、感染症の状況に対応しながら、今まで培ってきた実績を大切にして地域連携の絆を強め、「子供の健やかな成長」を向上させるために、継続的に学校運営協議会と協働した教育活動を展開していきたいです。

「地域とともに 心豊かに 自ら学ぶ児童の育成」をめざして

下関市立本村小学校

学校運営協議会について

〔第1回〕学校経営方針の説明と承認、本村小の特色ある取組について：書面配付

〔第2回〕玄洋中学校区合同学校運営協議会：中止

〔第3回〕第1回学校評価についての意見交換、各部（知・徳・体）における熟議

〔第4回〕玄洋中学校区合同学校運営協議会：中止

〔第5回〕第2回学校評価結果についての協議、児童の様子について：書面配付

〔第6回〕学校評価書の取りまとめ、来年度の重点目標等の検討：書面配付

※本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実際に会議を開いたのは1回、書面配付での開催が3回となりました。その分、ホームページや学校便り等で、地域や保護者に向けて、しっかり情報を発信しました。

特色ある活動

◆「地域とともに 心豊かに 自ら学ぶ児童の育成」に向けた取組

本校では、現在、22名の子ども（2年生以上）が、「平家踊りを受け継ぐ子の会」に入会している。毎週木曜日の18時から1時間半、太鼓、音頭、三味線の3部門を6名の地域の方から指導していただいています。今年度は臨時休業等の関係で、6月から練習開始となりました。地域指導者も高齢化しているため、検温、消毒、マスクの着用、マイクカバーの装着等、感染症対策をしっかりと行い、感染拡大状況に応じて、無理のないよう配慮しながら、慎重に練習を行いました。



コロナの影響で、残念ながら、今年度は次々と出演依頼がキャンセルになったが、それでも運動会と彦まちカフェという発表の場を得ることができ、児童はもちろん、保護者や地域の方々にもとても喜んでもらえました。

8月には、自治会や平家保存会の方々が、校舎内にあった古い運動会の入場門を搬出し、解体、撤去してくださいました。空いたスペースには、地域の祭りで使うやぐら等を置くことにしました。地域の宝を本校で大切に保管する…これも、本校にできる地域貢献の一つと考えています。



来年度に向けて

伝統ある本校の平家踊り体験活動だが、児童数の急激な減少と、指導者の高齢化で、今まで通りの活動を継続することが難しくなっています。一方で、「せっかく小学校で平家踊りの演奏をしていた子どもが、中学生に進学以降、続けないことがもったいない気がする。」という意見も学校運営協議会委員から寄せられています。今後は、小中連携の取組を通して、地域の指導者と小学生、中学生がより関わりをもち、地域に貢献できる学校づくりをさらに推進していきたいと考えています。

「地域を愛する西山っ子の育成」をめざして

下関市立西山小学校

学校運営協議会について

今年度はコロナウィルス感染拡大を防止するため、計画通りには開催ができませんでしたが、本来学校運営協議会は、小中合同学校運営協議会を含め年5回行っています。年度当初に学校教育活動と地域行事を照らし合わせ、年間を通して効果的に地域との交流が行われるように、組織を「学習」「環境安全」「地域交流」の3部会で構成して計画を立て、学期ごとに振り返りを行い、改善を図って参ります。

	主な協議内容(予定も含む)
第1回学校運営協議会 (12月に実施)	学校運営全体構想の説明 年間の活動計画 学校運営全般について
第1回小中合同協議会(中止)	令和2年度活動計画 各学校の取組紹介
第2回学校運営協議会(中止)	「思いやりと感謝の心で他者とかかわる力を育てる」というテーマで教職員と地域の方とで熟議(3部会)
第2回小中合同協議会(中止)	各学校の現状(学力・生徒指導) 玄洋校区がめざす児童・生徒について(小中合同研修会として教職員のみで9月に実施)
第3回学校運営協議会(紙面にて2月に開催)	学校評価結果報告 来年度学校教育目標の承認

特色ある活動

◆ 今年度は残念ながら計画のみだったものがほとんどですが、本来なら1年間に以下のような活動があります

- 南風泊漁港とフグの放流(4月)
- 運動会で平家踊り保存会の方と共演(5月)
- マリンビーチ清掃(6月)
- 認知症キッズサポーター養成講座(10月に実施)
- 彦島地区文化祭への参加(10月)
- おもちゃランドへようこそ(10月)
- ふれあいウォーク(11月)
- 昔の遊び(2月) ○感謝の集い(2月)

◆ 「彦島探検」・「アイユウの苑との交流」
「どんぐりの会による読み聞かせ」「朝学の支援・授業支援」については、通年で行います。

◆ 今年度継続して行っていただいた活動は以下の通りです。

- 迫町老人会による花壇整備(通年) ○登下校の見守り(通年)



第1回学校運営協議会



認知症キッズサポーター養成講座

来年度に向けて

今年度はコロナ禍の中で様々な制約はありましたが、「学校・地域連携カリキュラム」を作成し、玄洋校区の小中学校3校でその内容についての協議を行いました。来年度は、さらにカリキュラムを見直しながら、保護者・地域の方へ周知するとともに、引き続き協力をお願いして参りたいと思います。